



年頭挨拶 (2024年)

令和6年1月4日
理事長・院長 中島 弘文

あけましておめでとうございます。昨年は当院の業務に対して、ご理解とご協力を頂きましたことに篤く御礼を申し上げます。

最初に昨年度を振り返ってみると、中島病院では四つの大きな出来事がありました。まずは新型コロナウイルス感染症の対策が大きく変わったことです。感染症分類が5類となり、法律上は隔離が不要となり確保病床が廃止されました。現在は3床で受け入れを継続していますが、12月中旬からは常に埋まっている状況です。かかりつけ患者様の受け入れもお断りしなければならない事態となっていますが、看護師が対応可能な最大限の病床数となります。ご迷惑をおかけしていますが、ご理解をお願いしなければなりません。次は、加藤勝信厚生労働大臣が表敬訪問された出来事です。1時間以上にわたり院内を視察され、今後の医療と病院経営に関しての情報交換を行いました。三つ目は、倭文診療所の開設です。現時点では通院患者数は多くありませんが、僻地診療を担う医療機関として責務を果たしていかなければなりません。そして最後は、理事長交代です。前理事長（中島壮太）の実績に負けないように微力を尽くしていきたいと考えていますが、まだまだ経営者としては未熟です。引き続きのご指導とご鞭撻をお願いできれば幸いです。

本年は、安心安全で質の高い診療を提供し、最高の接遇（Hospitality）を実践することにより評判を高め、地域からの信頼を高めることを目標とします。病院の実力＝職員の能力です。医療技術だけではなく人間性も磨くことができるように、職員のヒトとし

ての能力向上を支援していきます。優秀な仲間を確保していくためにも、人間関係も含めて働きやすい風土と働き甲斐のある職場環境を醸成し、最高のスタッフが揃った内科専門病院への革新を目指していきます。

当院は明治11年に創業しており、創立147年となります。200年を越えて存続できることが目標です。そのためには、病院経営では「理念」を大切にし、職員一人ひとりが「理想像」を持ち、医療の現場では高い「倫理観」を保つことを大切にしていかなければなりません。

最後に、当院へ通院されている皆様の屈託の無い笑顔が見られるように、「中島病院に来て良かった」と言って頂けるように、全職員が一丸となって取り組む一年にしていきたいと考えています。

本年も宜しくお願い申し上げます。



【病院の基本理念】

私たちは、地域に信頼される内科専門病院として、良質な全人的医療を提供いたします

【中島病院の長期目標（理想像）】

Hospitality No.1（ホスピタリティー ナンバーワン）



「病院における Hospitality」とは

安心・安全で最高の医療を提供するだけでなく、

相手だけではなく自分も一緒に、幸せな気持ちになれるような対応をすること。

「一人を幸せな気持ちにできる人は、すべての人を、そして自分自身を幸せにできる」

